

# 家庭学習のすすめ

## 学校と家庭の連携で

### 子どもたちに「学力の定着」を！

本校は「わかる授業」を本年度も継続して実施していきます。また、評価では興味・関心・態度（意欲）を大切にし、授業規律を守らせながら一時間一時間の授業に取り組みます。毎日朝の会前の10分間、週5日間「開智学習」として朝のドリル学習を行っています。「開智学習」を始めてから本年で8年目を迎えます。国・数・英の3科中心の「基礎・基本の徹底」を図るために（確かな学力の定着）この時間を設けました。

下表は本校の年間授業実施時数です。また、（ ）の中の数字は週授業数を表します。学力を定着させるには授業が一番大切ですが、授業だけでは不十分です。帰宅後に授業の内容をもう一度復習することで知識の定着を図ることが大事になってきます。特に、数学（計算問題、定理）・英語（単語）・国語（漢字、意味）・社会（地名、年表）・理科（法則、元素記号）など繰り返して覚える教科や領域等ではこの復習が大事なポイントです。

	1年	2年	3年	合計
国語	140(4)	140(4)	105(3)	385
社会	105(3)	105(3)	140(4)	350
数学	140(4)	105(3)	140(4)	385
理科	105(3)	140(4)	140(4)	385
音楽	45(1.3)	35(1)	35(1)	115
美術	45(1.3)	35(1)	35(1)	115
保健体育	105(3)	105(3)	105(3)	315
技術家庭	70(2)	70(2)	35(1)	175
外国語(英語)	140(4)	140(4)	140(4)	420
道徳	35(1)	35(1)	35(1)	105
特別活動	35(1)	35(1)	35(1)	105
総合的な学習	50(1.4)	70(2)	70(2)	190
合計	1015(29)	1015(29)	1015(29)	3045

現在の教育課程では理科・数学は学習内容が大幅に増え、社会の地理分野の改定等がありました。学習内容が多くなったことで学習のペース（進度や授業数の増加）が変化しました。学習は繰り返しの質や量で定着率が決まります。繰り返しのようになりますが、学校では「わかる授業」「学習意欲のわく授業」「学習規律のある授業」の実践をするために、また確かな学力の定着のために授業力の向上を目指した研修、教材研究を重ねています。復習を兼ねて前時の授業の学習内容のミニテストをしたりしていますが、復習の時間を授業中になかなか確保しにくい状況です。

そのため、「宿題を含めた、家庭学習の時間の確保」が大切になります。学習の定着の重要な鍵となってきます。授業の充実と家庭での生活習慣や学習習慣は学力定着にとっての両輪となっています。「意欲」・「根気強く継続する態度」はこの学力定着を支える基盤です。「学校での授業」⇒「家庭での宿題・復習・予習」という学習の連続性があれば学習内容に定着率が増します。プラスその日の授業はその日に復習すれば、さらに定着率が向上します。日が経って復習をすれば忘れてしまうことが多くなることは誰しも経験済みなはずです。

家庭学習の習慣化のためには、お子様の努力もちろんのことですが、学校と家庭が連携し、協力して取り組むことが大切です。それぞれの立場で役割を果たしながら、よりよい成長を願いながら、ともに家庭学習習慣の確立に努めていきましょう。



家庭学習の内容は

どのくらい勉強すればいいのかな

- \* 宿題
- \* 復習
- \* 予習
- \* 興味関心のある自主学習

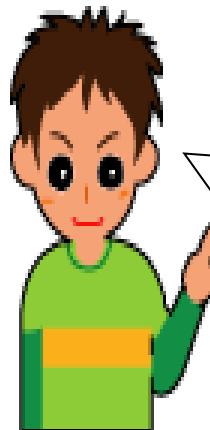
小学生は10分×学年

**中学生は**

**1年生は1時間以上**

**2年生は1時間半以上**

**3年生は2時間以上**



早めに宿題・復習をしよう。  
一時間一時間の授業を大切にしよう。

## 家庭学習の約束

一人で、素早く、丁寧に

わからないところはチェック！（翌日にきこう。）



照明・姿勢・  
換気に気をつ  
けよう。

- ★ 早めの勉強時間を決めてコツコツと！
- ★ テレビはつけない！（視覚の確保）
- ★ 途中でおやつは食べない。（集中の確保）
- ★ 30分は続ける。（継続の確保）

## 確かな学力を身に付けるために



- 毎日、机に向かおう。
- やるときは集中してやろう。
- 宿題は優先してやろう。
- **復習、特に数学・英語は確実に毎日やろう。**
- 目標を持ち、計画的に、決まった時間にやろう。
- 「読み、書き、言葉にする。」五感をすべて使おう。
- わからない所はそのままにしない。チェックして翌日に先生や友達にきこう。わからないところがあるのは恥ずかしいことではありません。